

-----10月7日-----

※ 今週のアウトルック (10/7~10/11)

先週は引き続き米国財政をめぐる不透明感が支配する中、ドル売りが進んでいます。最悪の場合、米国のデフォルトということも考えられる中、「ありえないこと」というコンセンサスはあっても、不安はぬぐいきれない状態が続いています。

また、暫定予算が成立せず、政府機関が機能せず、雇用統計の発表は無期延期となりました。

今週もまだ不透明感に支配される状況は続きそうです。

ドルは各通貨に対して、ドル売り状況が顕著化し始めました。米国の暫定予算が成立しない限り、この状況は続きそうです。

ただ、成立した場合の反発状況にも注意が必要のように思います。

ドル円の予想レンジは95円から99円です。

ドル売りからのユーロドルの上昇が続いています。1.37付近のレジスタンスは、さすがに厚そうですが、こちらも米国の政局動向次第と言えらると思います。

ユーロ円は円買い、ユーロドル上昇の中、膠着状態となっていますが、米国の政局次第では、一気に動き出す可能性を考慮する必要がありそうです。

ユーロ円の予想レンジは130円から134円です。

ポンドはこのところの上昇が急ピッチであったため、警戒感から一気に利益確定が入っている状況です。

今週あたり、下げ止まる可能性もありそうですが、一気に反転、とは行かないかもしれません。

ポンド円の予想レンジは154円から159円です。

今週も引き続き、米国の政局の動向に大きく左右されそうですが、交渉が上手くいかず、最悪の事態を強く意識させる状況になった場合も、想定しておく必要があるように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。